

Entrepreneur Candidate Club (ECC-iCAP)
the place where science & entrepreneurship intersect
 ～ 科学のフロントランナーが語る未来世界 ～

起業家×研究者×技術者が京都大学のサイエンスで起業するプラットフォーム、ECC-iCAP のイベント第三弾を開催します！ ご参加お待ちしております！ ポスドクも大歓迎！

日時 5月25日（金） 19:00（18:30開場）～21:45
場所 京都アカデミアフォーラム（新丸の内ビル）
定員 先着100名まで
対象 起業家精神を持つ社会人、企業経営者、将来、CEO、CSO、CFO
 等経営層を目指す個人（京都大学出身者に限らない）
主催 京都大学イノベーションキャピタル株式会社
共催 京都大学産官学連携本部、日本ベンチャーキャピタル株式会社
申し込み方法 右記 URL からお申し込みください→ <https://eccicapevent3.peatix.com/view>



**ポスドク研究者
大歓迎！**

進行：(司会 京都大学イノベーションキャピタル 八木信宏)

19:00-19:10 開会挨拶&オリエンテーション
 19:10-20:50 「科学のフロントランナーが語る未来世界」研究者からのプレゼンテーション
 アクセラレーターからのご案内
 20:50-21:45 交流会（登壇者別にテーブルを囲んで起業家候補と交流）

研究者プレゼンテーション：（登壇者およびタイトルは当日変更になる場合がございます）

- 松田文彦 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター センター長・教授：
ヒト生物学から予防医学へ
- 藤井啓祐 京都大学大学院理学研究科 特定准教授：量子コンピュータの可能性とソフトウェア戦略
- 長船健二 京都大学iPS細胞研究所 教授：iPS細胞を用いた腎疾患に対する再生医療の開発に向けて
- 神谷之康 京都大学大学院情報学研究科 教授：ブレイン・デコーディング：脳から心を読む技術

アクセラレーターからのご案内：

- 渡邊康治 日本ディープテック協会理事 Hello Tomorrow Japan運営委員：
～Global なDeep Techコミュニティ～ Hello TomorrowとGlobal Challengeのご紹介
- 矢澤麻里子 Plug & Play Japan Venture Partner／取締役：
Go global through ultimate ecosystem platform

※ECC-iCAPは、起業家と京都大学テクノロジーのマッチングを目的として京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するクラブです。

「お問い合わせ」：ECC-iCAP事務局 ecc-icap@kyoto-unicap.co.jp

<登壇者 略歴>

【松田文彦】

京都大学理学部を卒業後、京都大学大学院医学研究科博士課程、京都大学遺伝子実験施設助手、フランス国立ジェノタイプセンター研究部長を経て、2008年より現職。

松田文彦教授は、大規模な網羅的ゲノム解析から様々な疾患や生命科学の解明に取り組んでいる世界的な研究者である。現在実施している「ながはま0次コホート事業」では、滋賀県長浜市市民の協力の基に数万人規模の生体試料と健康情報を経時的に測定し、最新の解析手法で分析を進めている。また、厚生労働省・AMED難病実用化事業の遺伝子・オミックス拠点研究では、「難病の分子解析や難病レジストリ事業」の総括責任者として国をあげた難病対策の基盤となるプラットフォームの構築を進めている。今回のECC-iCAPでは、独自成果を基にゲノムと画像のデータベースに人工知能を組み合わせた技術にて予防医療に貢献する新会社の設立を計画している考えをお話し頂く予定である。

【藤井啓祐】

2011年3月京都大学大学院工学研究科 博士課程終了。博士（工学）。2011年4月から2013年3月まで、大阪大学大学院基礎工学研究科特別研究員。2013年4月から2016年3月まで、京都大学白眉センター特定助教。2016年4月から2017年9月まで、東京大学光量子科学研究センター助教。2017年10月から京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻、特定准教授（卓越研究員制度テニユアトラック）。2016年10月からJSTさきがけ研究員を兼任。2017年2月から大阪大学大学院基礎工学研究科招聘准教授を兼任。量子技術普及のための一般社団法人Quantum Research Institute 理事。量子ソフトウェア開発のためのベンチャー企業、株式会社QunaSys（キュナシス）最高技術顧問。

【長船健二】

1996年3月京都大学医学部卒業。1996年～2000年まで市立舞鶴市民病院、京都大学附属病院、兵庫県立尼崎病院にて一般内科および腎臓内科学、透析医学の臨床に従事。2003年3月東京大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。2003年4月東京大学大学院総合文化研究科研究員。2005年4月ハーバード幹細胞研究所/ハーバード大学幹細胞再生生物学教室客員研究員。2008年6月科学技術振興機構（JST）さきがけ研究員、京都大学iPS細胞研究センター特任講師。2010年4月京都大学iPS細胞研究所准教授。2014年10月京都大学iPS細胞研究所教授。

【神谷之康】

1970年奈良県生まれ。東京大学教養学部卒業。カリフォルニア工科大学でPh.D.（計算・神経システム）取得後、ハーバード大学、プリンストン大学を経て2004年からATR脳情報研究所に所属。2015年から京都大学大学院情報学研究科・教授（ATR脳情報研究所・神経情報学研究室・客員室長を兼任）。機械学習を用いて脳信号を解読するブレイン・デコーディング技術のパイオニアで、ヒトの脳から視覚イメージや夢を解読することに世界で初めて成功した。

SCIENTIFIC AMERICAN誌「科学技術に貢献した50人」の一人に選出（2005年）。朝日21関西スクエア賞（2009年）、塚原仲晃記念賞（2013）、日本学術振興会賞（2014年）、大阪科学賞（2015年）等受賞多数。